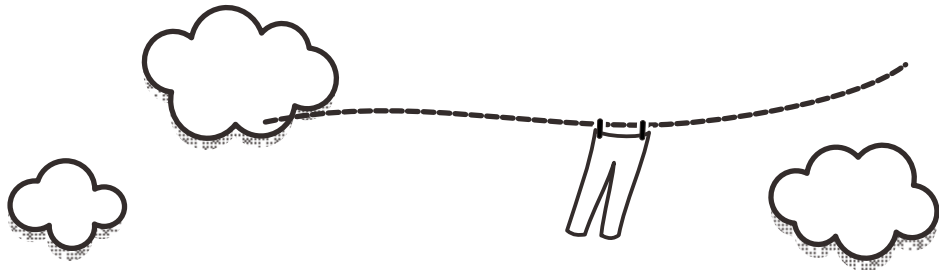


洗濯のコツ



いつもの洗濯にちょっと工夫をプラスして
衣類を守りながら汚れはさっぱり。
気分もすっきり。



宣言
明るい笑顔
すぐ返事
伝える元気

かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ

かちどき薬局のブログ
ameblo.jp/kachidoki-blog



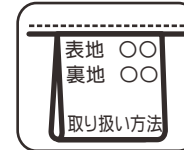
Seedling 2017 4月号

Copyright © 2017 かちどき薬品株式会社 <http://kachidokikk.co.jp/>
健康情報サイト げんき君 <http://genki1616.co.jp>

洗濯の準備

◎衣類を見極める

品質表示を
確認しよう



衣類についているタグには、生地素材や
家庭で水洗いできるかなどの洗濯表示が
記されています。どのように洗えばよいか、
衣類ごとに確認しましょう。表示の見方は7ページへ

◎洗剤を選ぶ 素材や衣類の状態に適した洗剤を使いましょう

- 一般的な皮脂汚れ・普段着洗い……………弱アルカリ性洗剤
- デリケートな衣類・シルク・ウールなど…中性洗剤
- より白く仕上げたいもの……………蛍光剤入り洗剤

洗淨力は強いが
色落ちしやすい

洗淨力は弱い
が衣類に優しい



◎素材別《特徴と洗い方》

繊維の種類	洗濯の際の特徴	シワになりにくい	洗剤
綿	耐久性がよい。縮みやすい。	△	弱アルカリ性洗剤
麻	型崩れしやすい。	×	
レーヨン	縮みやすい。水に濡れると強度が低下する。摩擦に弱い。	×	中性洗剤
ウール	縮みやすい。毛玉がでやすい。	○	
シルク	水に弱く縮みやすい。色落ちしやすい。熱に弱い。酸やアルカリに弱い。	×	弱アルカリ性洗剤 (おしゃれ着は中性洗剤)
ポリエステル	型崩れしにくい。乾きが早い。	○	
アクリル	縮みにくい。熱に弱い。	○	

チェック
ポイント



素材は？

風合いが変化
してしまうかも

染色は？

色落ちや色移り
するかも

縫製は？

型崩れしたり
破けるかも

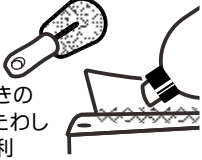



付属品は？

ひっかかったり
取れるかも

洗濯用ネットに入れる
弱水流で洗うか手洗いする
他の衣類と分けて洗う
デリケート衣料用洗剤を使う

部分汚れ・シミ抜き

落ちにくい汚れやシミは、洗濯機に入れる前にひと手間加えると落ちやすくなります。できるだけ早く対処するのがコツ!

<p>汗・皮脂</p> <p>袖口や襟などは液体洗剤をつけて歯ブラシなどでこすって5分ほど置き、そのまま洗濯機で洗う</p>  <p>柄つきのミニたわしが便利</p>	<p>土・泥</p> <p>乾く前に洗ったほうが落ちやすい</p> <p>乾いた泥は払い落として固形石けんをこすりつけ、水につけ置きしてからこすり洗いする</p>	<p>洗剤の原液や漂白剤は・・・洗濯表示で使用できるか確かめ、色落ちテストをしてから使いましょう。</p> <p>《色落ちテストのしかた》 目立たない部分に原液をつけ約5分待つ。上から白い布をあてて色がつかなければOK。</p> <p>デリケートな衣類の場合は家庭での対処は控え、専門の業者に依頼するのが無難です。</p>
<p>口紅</p> <p>クレンジングオイルをしみこませて裏返し、下にペーパータオルを敷いて、裏から綿棒で軽く叩く →食器用洗剤でもみ洗いし、ぬるま湯ですすぐ</p> 	<p>油性ボールペン</p> <p>裏返して下にペーパータオルを敷いて、消毒用エタノール+食器用洗剤を混ぜて綿棒につけ、汚れをトントンと叩き水ですすぐ</p> <p>▲水性インクやゲルインクは家庭で落とすのは困難</p>	<p>カビ</p> <p>太陽の光を長時間あてて殺菌し、歯ブラシでこする</p> <p>→落ちない時は40～50℃のお湯1Lに10gの酸素系漂白剤を混ぜた液で洗い、すすぐ</p>
<p>トマトソース</p> <p>濡らしたティッシュでふきとり、食器用洗剤(原液)をつけて1分置き水ですすぐ →食器用洗剤を再びつけ、歯ブラシか指でこすり洗いする</p> 	<p>カレー</p> <p>水で濡らして食器用洗剤をつけてもみ洗いする</p> <p>→落ちない時は漂白剤で漂白した後に洗濯機で洗う</p> 	<p>チョコレート</p> <p>水で濡らして食器用洗剤+クレンジングオイルを混ぜ、もみ洗いする</p> <p>→落ちない時は歯ブラシにベンジンをつけて優しく叩き、食器用洗剤で軽くもんでからすすぐ</p>

トラブル予防・対処法

色落ち・色移り

色落ちや他の衣類への色移りは完全に元に戻すのは難しいため、予防が肝心。



色落ちや色移りを防ぐには

- 水温を確認する
水温が高いと色落ちしやすい
- 色ものと白いものは別に洗う
- 裏返してネットに入れる
衣類どうしが絡むと色移りしやすい
- 中性洗剤を使う
- 塩を加える 中性洗剤を使い「同量の塩」を加えて洗うと色落ちしにくくなる
- 洗った後は放置せず、すぐに干す

色移りしてしまったら

乾いてしまう前にすぐ再洗いをしてみましょう。
水温50℃以上のお湯に「酸素系漂白剤+普通の2～3倍量の洗剤」を入れ、色移りしたものだけを入れてしばらく置いてから洗い直すと、落とせることがあります。



毛玉

繊維が擦れる脇や袖の内側などに、摩擦によって起こることが多い。

毛玉がしやすい素材

- ◇ アクリル100%
- ◇ ポリエステル+綿、アクリル+ウールなど
化学繊維と天然繊維の混紡
- ◇ カシミア・アンゴラなどの獣毛
(天然繊維は毛玉ができて自然に取れやすい)

毛玉ができそうな衣類は

裏返してネットに入れて短時間で洗い、摩擦を極力防ぐことで毛玉の発生を軽減できます。
起毛はブラシで毛羽を整えるなど普段からのお手入れが重要です。

毛玉ができてしまったら

手でむしり取ると生地を傷めたり薄くなってしまいます。

- 台所スポンジのかたい面で優しくこする
- はさみで丁寧にカットする
- T字カミソリや毛玉取り器で慎重に取り除く

衣類によって水温や洗剤が適さない場合があります。洗濯表示をよく確認しましょう。
色柄物やデリケートな衣類は家庭での対処を控え、専門業者に依頼しましょう。

❗洗濯槽のお手入れ

洗濯機は汚れや湿気がたまりやすく、一見きれいに見えても洗濯槽の裏などにカビが大量発生していることがあります。せつかく洗っても衣類にカビをつけてしまい、身体に悪影響を及ぼす可能性があり、アレルギー性皮膚炎の原因になるとも言われています。



洗濯槽のカビを予防するには

洗う前の衣類は洗濯機の中に入れておかない



洗濯が終わったらすぐ洗濯物を取り出す

フタは開けたままで中を乾燥させておく

洗濯槽のお手入れ方法

定期的にかび取り掃除をして、すっきり清潔に。目安は2~3カ月に1回ほどです。

酸素系漂白剤を使う

◆◆◆こびりついたカビをはがす◆◆◆

洗濯機の最高水位まで40~50℃のお湯を入れ酸素系漂白剤を入れて『洗い』をスタート



漂白剤の量は水10Lに100ml以上

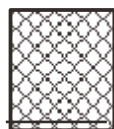
終わったら、浮いてきたカビ・汚れをすくい取り、

※そのまま2時間ほどつけ置きする
(※つけ置きできる洗濯機の場合)

浮いてきた汚れをすくい取らないと排水管がつまったり故障の原因になることがあります。

もう一度『洗い』をスタート

※そのまま3時間~ひと晩つけ置きする



汚れは水きりネットやザルで取り除く

『すすぎ・脱水』をスタート

最後にカビ・汚れが残っていたら、きれいに取り除く

塩素系漂白剤を使う

◆◆◆汚れを分解・殺菌する◆◆◆

水またはぬるま湯を使用し、上記の方法と同じ順序で行う

塩素系ではカビや汚れが分解されて汚れが浮いてこないことがあります。

★ガンコな汚れ・カビには

①酸素系→しっかりすすいだ後→②塩素系の順に行くと効果的です。

(酸素系と塩素系を混ぜるのは厳禁)

衣類を乾かすポイント

👕 早く乾かすには … 少しの工夫で仕上げに差をつける …

衣類を乾かすためのポイント

- 干すものの表面積を広く
- できるだけ温度は低く
- 温度は高く
- 風があたりやすいように

物干し竿に干す時

片方を短くしてピンチでとめる

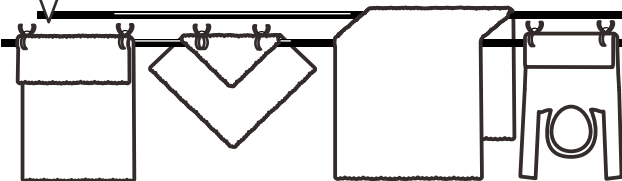
三角干しにすると表面積が広がる

大きなものは竿2本で干す

フードが逆さになるように干す

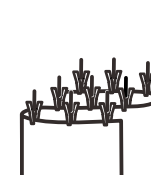
ハンガーに干す時

脇の下が乾きにくいので袖を上にかける



ピンチハンガーに干す時

乾きにくいものは筒状にとめて風の通り道を作る



大きなものはジグザグにとめて表面積を広くする

長いものを内側に短いものを外側に

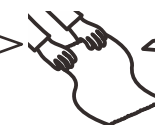
乾きにくいものはハンガー2本で干す

👕 シワを防ぐには

脱水が終わったら洗濯機からすぐに取り出す



1枚ずつ両手で持って数回振る



タオルや起毛はふっくらとした風合いが戻る

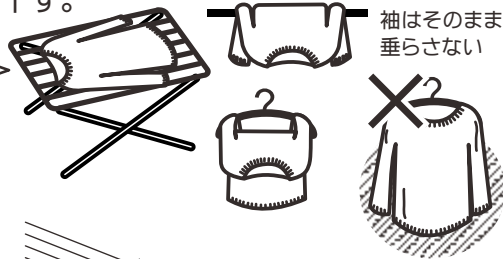
シワをなくしたいものは両手で挟んで叩く



素材別《干し方の工夫》

ニットは平干しネットに広げて干す。

物干し竿やハンガーの場合は
胸が二つ折りになるようにかける
袖は上にかけるのがポイント!



袖はそのまま
垂らさない

紫外線に弱い素材に注意。

シルク・ウール・ナイロンは
一般的に陰干しが向いている

白いものは黄ばんでしまうことが
あるため陰干しが無難



直射日光を避けて
裏返して干す

衣類の洗濯表示も
よく確認を

部屋干しのコツ … 雨の日や花粉の時期も上手に洗濯 …

部屋干しの場合は乾きが悪く「生乾き」の状態は
においが発生しやすいため、あらかじめ対策を。

洗う時

お風呂の残り湯を使用したり
衣類に雑菌が残っていると
においが発生しやすい

洗いものを洗濯機に
詰め込みすぎると、汚れが
残る原因になるので
入れる衣類は少なめに

厚手のものは脱水の時間を
やや長めにする

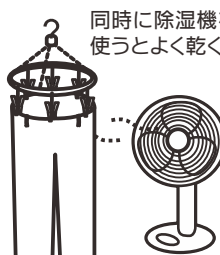
脱水が終わったら、乾いた
タオルと一緒に入れて
もう一回脱水すると早く乾く



干す時

扇風機の風をあてる

同時に除湿機を
使うとよく乾く



換気扇をつけた風呂場に
干すのもおすすめ

シャツはアイロンをかけて
干すと水分が蒸発し早く乾く

新しい洗濯表示を見てみよう

2016年12月より新しい洗濯絵表示(ケアラベル)に変更されています。
新しい洗濯表示は5つの基本記号と付加記号の組合せで表します。

《5つの基本記号》

(クリーニング店に
向けた表示です↓)



洗濯の
しかた



漂白の
しかた



乾燥の
しかた



アイロンの
かけかた



クリーニングの
種類



《付加記号》

強さ

(線なし)



可否



強い

弱い

非常に弱い

禁止

温度

低い

高い

干し方

平干し

脱水せず
平干し

吊り干し

脱水せず
吊り干し

水温

40

(など)

例



水温は上限
40℃までで
洗濯機の優しく
洗うコースで
洗濯できる。



酸素系および
塩素系漂白剤
の使用禁止。



酸素系漂白剤は
使用できるが
塩素系漂白剤は
使用禁止。



平干しが
よい。



脱水せず
日陰に
平干しが
よい。



150℃
(中温)を
限度とし、
アイロン
がけできる。

上記の他にも新しい記号があります。
詳しくは消費者庁のリーフレットやホームページなどで確かめましょう。

消費者庁 > 新しい洗濯表示

http://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household_goods/laundry_symbols.html